

一部画像を加工・修正をして掲載している箇所があります

令和6年度 防犯ボランティアフォーラム 関東ブロック 令和6年7月27日開催

日本文化大学・ボランティアサークル防犯パトロール隊 (東京都)



みなさんこんにちは、日本文化大学ボランティアサークル代表の田山湧太郎です。副代表の小林大樹です。この度はこのような機会を設けていただきありがとうございます。本日はよろしくお願い致します。

目次

1. 団体概要
2. 結成の経緯
3. 活動内容
4. 活動頻度
5. 課題
6. 課題の解決に向けた取組方策

はじめに団体の概要、結成の経緯、活動内容、活動頻度、課題、課題の解決に向けた取組の方策の順で発表させていただきます。



活動地域

東京都八王子市
 ・八王子駅周辺
 ・片倉駅周辺

など

活動の概要に入る前に、私たちの活動地域の紹介をさせていただきます。私たちは、私たちの大学がある八王子市を中心に活動しています。八王子市には約 56 万人が住んでおり、東京都市部では最大の面積を持つ大きな市です。八王子市には、高尾山をはじめとする緑あふれる自然豊かな地域もあり、交通機関が充実しています。鉄道の路線も多くあるため、東京や横浜方面にも行きやすく、中央道や圏央道を使えば車での移動もしやすくなっています。

<h3>1. 団体概要(1)</h3> <p>～日本文化大学・ボランティアサークルとは～ 日本文化大学は警察官・公務員の志望者が多いので、住民の安全・安心を守りたいという学生が集まり活動しているサークル</p> <p>～発足～ 平成 21 年に学生により発足</p> 	<h3>1. 団体概要(2)</h3> <p>～活動方針～ 警察署・市役所・防犯協会・地域住民等と連携を図ることで「犯罪が起きないようにするための環境づくり」を目標として活動</p> <p>～体制～ ボランティアサークルには64人が所属</p> 
---	--

次に、団体の概要についてご説明いたします。我々ボランティアサークルが所属している日本文化大学は、警察官、公務員の志望者が多い大学で、法学部単科で学年定員が 200 名と小規模な大学です。それ故に、先生との距離が近く、マンツーマンで指導してもらえます。なお、本年 3 月卒業生の内、116 人が公務員になり、そのうち 77 人が警察官です。ボランティアサークルは、住民の安全・安心を守りたいという学生が集まっているサークルです。ボランティアサークルは平成 21 年度から活動を開始いたしました。警察署や市役所、防犯協会、地域住民等と連携を図ることで「犯罪が起きないようにするための環境づくり」を目標として活動しています。現在、ボランティアサークルには 64 人が所属しています。

2. 結成の経緯

「地域住民の安全・安心のために何かしたい」
というコンセプトのもと学生たちによる話し合い



「地域の安全・安心を守っている警察や自治体」
の一端を担うことのできる活動とは何か



防犯パトロール隊の結成

次に、防犯パトロール隊の結成の経緯です。結成の経緯は「地域住民の安全・安心のために何かしたい」というコンセプトのもとで学生たちが話し合った結果、ボランティアサークル員により防犯パトロール隊が結成されました。

3. 活動内容

(1) 「防犯パトロール」の参加

八王子駅・京王八王子駅周辺において、八王子市役所、八王子警察署、防犯協会、地域住民等が合同で実施している100人規模の防犯パトロールに参加

次に活動内容です。私たちは月に1回18時30分から1時間、八王子市役所、八王子警察署、防犯協会、町内会、商店会が合同で実施している防犯パトロールに10人から20人が参加しています。

3.活動内容 ～活動状況の写真1～



このパトロールは3班に分かれ、JR八王子駅や京王八王子駅周辺を合計100人規模でパトロールしています。こちらは防犯パトロールの写真です。この写真の真ん中に写っている白い可愛い犬は、囃託警察犬になります。

3.活動内容 ～活動状況の写真2～



このように、学生たちが防犯のぼりを持ち、八王子市の安全安心を確保できるよう、防犯活動を行っています。

3.活動内容 ～活動状況の写真3～



また、パトロールには八王子市長や八王子警察署長、オレンジ色のベストを着ている町内会の会長なども参加し、八王子市全体が一丸となってパトロールを行っています。

3.活動内容

(2) 特殊詐欺防止キャンペーンへの参加

年給支給日等に高齢者の方に対し、特殊詐欺防止キャンペーン等に参加

(3) 痴漢被害撲滅運動への参加

南大沢警察署と協力し、痴漢撲滅活動に参加



次に、特殊詐欺撲滅キャンペーンの参加です。特殊詐欺撲滅キャンペーンは、南大沢警察署管内や南大沢警察署の防犯フェスタで、八王子に所在する他の大学生と協力してチラシ配布などを行い、高齢者の方や若い世代の方にも声掛けを行っています。高齢者の方の中には、チラシを受け取ってもらえない方もいます。そのため高齢者の方だけでなく、子どもや孫にあたる若い世代の方にも働きかけ、特殊詐欺について知ってもらい、家庭や地域を通じて特殊詐欺についての情報共有、防止対策の実施ができるようにしています。

また、キャンペーンを行っている際に、高齢者の方に「気をつけるね、ありがとう」など声をかけていただくこともあり、改めて私たち1人1人の防犯活動の大切さを感じています。引き続き警察署など

と連携して、詐欺被害を減らせるように活動したいと思います。

そして、詐欺は被害にあわないように気をつければよいというだけではなく、詐欺を減らすには、特殊詐欺グループへの対策も必要です。例えば、闇バイトで特殊詐欺に加担する大学生も多いそうなので、闇バイトの危険性についても、若い世代に、広報や啓発活動を推進していきたいと思います。

次に、南大沢警察署の痴漢撲滅キャンペーンの参加です。痴漢撲滅キャンペーンは、大学の受験当日などを狙った痴漢もあるので、そのような痴漢を撲滅するため、大学の最寄り駅である、片倉駅で行っています。また痴漢にあった被害者は自ら助けを求めることが難しいため、周りの人が声をかけやすいように、警視庁の防犯アプリ「デジポリス」の使用の説明なども防犯フェスタなどで行っております。



こちらのスライドをご覧ください。こちらは警視庁の防犯アプリの『デジポリス』です。『デジポリス』には痴漢撃退機能や防犯ブザー機能などがあります。『デジポリス』は声を出さなくても、画面表示や音声によって周囲に助けを求めることができます。

スライドのように「痴漢です、助けてください」といった画面表示をすることで周囲に助けを求めることができ、黒い画面をタップすると、「やめてください」と音声が出るようになっています。また電車内などで痴漢の被害にあって困っている人がいたら、被害者に「痴漢されていませんか？」とスマホの画面を見せることで、助けを必要としているかを確認することができます。このように多くの方に『デジポリス』を知ってもらうことによって、犯罪被害を防止できると考えています。

3.活動内容

(4) 環境整備活動

大学周辺のポイ捨て等された
ゴミの回収・環境整備活動を定
期的に実施



また、大学周辺のゴミ清掃や環境整備活動を行っています。私たちは月に3回ほど、学生が集まりやすい時間に集合し、大学周辺や最寄り駅で清掃活動を行っています。清掃時には清掃をするだけでなく、地域の方などと挨拶や交流をし、暮らしやすい街になるよう心掛けています。また雑草が歩道のそばに生え、歩行の妨げになっているところもあるので、そのような場所を中心に環境整備活動を行っています。私たちが清掃している駅周辺は、タバコのポイ捨てが多くあります、小学校の通学路にもなっているため、児童の安全・安心を確保できるように今後も取り組みたいと考えています。

3.活動内容

(5) 小学校の運動会のお手伝い、授業の補助

大学近くにある小学校の運動会のお手伝い
や授業の補助等を行っている。



また、小学校の活動についてですが、大学の近くにある小学校の運動会の手伝いや、授業の補助を行っています。運動会の手伝いに関しては、グラウンドの線引きや用具の出し入れ、今年度は騎馬戦の土台なども行いました。

こちらの写真は（小学校の）校長先生との写真で、運動会の終了後に撮影したものです。授業の補助

は週4日、担当を決めて各学年の授業補助を行っています。算数のわからない児童の指導まで先生の手がまわらない時は、私たちが児童に個別に教えています。また、校長先生に授業補助の時間を増やして欲しいと言っているため、今後も児童との交流を大切にしていきたいと思っています。

4.活動頻度

- (1) 防犯パトロール 月1回
- (2) 防犯キャンペーン 月2~3回
- (3) その他活動 随時実施



次に、活動頻度についてです。活動頻度は、毎月行っている「防犯パトロール」や警察署と合同で行う「防犯キャンペーン」が月に2から3回、その他の活動としては清掃活動や小学校の授業補助などの活動を行っています。

5.課題

- (1) 後継者の確保
- (2) 他団体との連携
- (3) 防犯キャンペーンの浸透

今後の課題についてですが、課題は、「後継者の確保」、「他団体との連携」、「防犯キャンペーンの浸透」の3つがあると考えています。

6.課題の解決に向けた取組方策

(1) 後継者の確保について

入学時期において大学教授、リーダー学生が中心となり、新入生に対し「ボランティア活動の必要性・やりがい」を説明し、後継者確保に努めている。

1つ目は、「後継者の確保」ですが、近年、ボランティア活動の若者離れが進んでおり、本学もサークル員が減少傾向にあります。そのため、新入生ガイダンスなどで、大学教授やサークル代表者がボランティアの必要性ややりがいを説明しています。またサークルでは年に2回、学年別でミーティングを行い、現在の活動についての反省点、今後の活動についての検討等を行った上で、ボランティアへの活動の意気込みを高めています。そして何よりも、学年ごとの交流を大切に、みんなのチームワークを高めるようにしています。

6.課題の解決に向けた取組方策

(2) 他団体との連携について

今まで以上に防犯協会や母の会との連携を図り、キャンペーンなどの各種ボランティア活動に積極的に参加をし、他団体との連携を深めていく。

2つ目は「他団体との連携」です。他団体との連携を図ることで、今まで以上に活動の幅を広げ、今後もキャンペーンをはじめとする各種防犯ボランティアに積極的に取り組んでいきたいと考えています。

八王子市役所の防犯課長さんからは、若い世代が防犯活動に参加しているので活気が出ていると言っ

ていただいております。今後は防犯パトロール以外の活動においても、日本文化大学とコラボしたいという言葉をいただきました。今後も今まで以上に各種防犯ボランティアに積極的に参加し、他団体との情報共有も大切にして、積極的に活動していきたいと思っております。

6.課題の解決に向けた取組方策

(3) 防犯キャンペーンの浸透

該当キャンペーンだけではなく、個別の対象に対するアプローチを考える

例) 運動会のお手伝いや授業の補助に行っている小学校において、児童に対する防犯指導やSNSの使用の注意点を指導することができないか検討する等

3つ目は、「防犯キャンペーンの浸透」です。現在行っている街頭キャンペーンだけではなく、個別を対象にするアプローチを考えています。例えば、近くの小学校での授業補助、放課後の学童保育などを通して、児童に対する防犯指導やSNSの使用の注意点の説明などを行えないか検討しています。児童を狙った犯罪もあるため、個別に防犯指導を行うことで、犯罪への対策も強化できると考えています。また、先ほども述べましたが、高齢者の特殊詐欺被害防止については、その孫の世代である大学生から、おじいさん、おばあさんにアドバイスをするという取り組みを充実させたいと思っています。

ご清聴、
ありがとうございました



最後になりましたが今後も八王子の安全安心を守れるよう活動の幅を広げ、地域との交流を大切に活動していきたいと思えます。これで発表を終わります、ご清聴ありがとうございました。

講評

【木宮先生】

発表ありがとうございました。大学生の活動ということで、非常に頼もしく感じるところがありました。話の中で、たくさんの学生が警察官に将来なっているということで、非常に将来有望と感じます。サークルを卒業された先輩方や、そういった方々もたくさん警察官として活動されていることだと思えますので、いろいろ連携をしたりしながら、継続ができるといいと思えます。

概要の中の、「犯罪が起きないようにするための環境作りを目指す」ということは、非常に重要な考え方だと思えます。現在、犯罪そのものは、減少傾向にあるという話もありましたけれども、街頭犯罪をその場で防止するというよりは、むしろ、街づくりの観点で、大学生がこうして活動することで、多くの方々に安心感を与えて、市全体の意識を向上させ、コツコツと積み重ねるような環境作りを行っている、そういうところに大学生が関与していただいていることは非常に心強いと思えました。

あとは、大学というところで、やはり難しいのは毎年毎年新入生が来て、4年で卒業していくというようなことで、人数を確保すること、下級生に対する指導をすることに、非常に苦労があるのかと思えます。ぜひ継続できるように、新入生などにも声掛けいただいて、頑張っていたきたいと思えます。

おそらくコロナの影響もあって、こういった大学のサークル活動が、制限されていた時期も長くあったかと思えます。先輩たちから受け継いできたものが一旦途絶えるというような事がある中で、非常に苦労された4年間ではなかったかという感じもしますので、それをぜひ後輩に、受け継いでいって欲しいなと思えます。

卒業後に警察官になる方は、現場で頑張っていただけと思えますけれども、それ以外の方々もせっかく大学時代にこういう防犯活動に関心を持って取り組んでいただいているので、例えば、卒業後に今度は地域防犯の担い手として、また違う形で関わっていただけるとよいと思えます。20代、30代の若者が、なかなかこういう活動に参加しないというところもありますので、是非、これをきっかけに、皆さんに広めていき、卒業後も継続していただけるとありがたいなと感じたところです。以上です。ありがとうございました。

新所沢団地自治会（埼玉県）



安全・安心な団地生活をめざして
コミュニケーションツールとしての
自治会活動デジタル化の事例紹介



2024年 7月27日
新所沢団地自治会
古屋 俊昭

新所沢団地自治会の里見と申します。本日はもともと、古屋という会長が、こちらでプレゼンさせていただく予定でしたが、急遽所用が入り、私がピンチヒッターをさせていただくことになりました。本日は自治会活動全体を紹介し、その後、デジタル化への取組も進めておりますので、紹介したいと思います。短い時間ではございますが、皆様の参考になれば幸いです。

本日のAgenda

1. 新所沢団地自治会概要
(ロケーションと歴史)
2. 自治会活動のご紹介
3. デジタル化について
4. 今後の展望



所沢市イメージマスコット「トコロん」

本日のアジェンダはこちらです。はじめに私たちの自治会の概要と活動内容、そしてデジタル化の話、今後の展望にふれたいと思います。

1.新所沢団地治会概要 (ロケーションと歴史)

所沢市ってどんなところ？



- ・埼玉県の南西部に位置し東京都と隣接
- ・人口約34万人（県4位）

まず新所沢団地自治会の概要です。今日参加されている方の中には「所沢はどこ」、と思う方もいらっしゃるかもしれませんが、所沢のロケーションについて少しふれたいと思います。右のマスコットは所沢のイメージマスコットです。市の鳥「ひばり」と頭のプロペラは、航空公園もある「航空の発祥の地」ということを表したマスコットです。今後もたくさん出てまいりますので、表情もお楽しみいただければと思います。所沢市は埼玉県の南西で東京都に接しているところです。「トトロの森」もあります。緑豊かな環境が自慢で、近くて便利、なおかつ治安もとても良く、自然災害のリスクも非常に少ない、住みやすい所です。



その中でも新所沢団地のロケーションは、西武線の新所沢駅の西側に広がっている団地で、比較的広い敷地です。元々米軍からの払い下げの土地を転用していく中で、団地が順に形成されていったという歴史過程がある場所で、現在はUR（独立行政法人都市再生機構）の団地が西側に展開しており、けやき通りという名前で、第2、第3とまた緑団地の第2、第3と、それから駅前と全部で6つの団地、全部で2300世帯強の数となり、実際にお住まいの方の数は7000から8000人ぐらいの団地で、それをまとめた形で自治会として活動しています。ご覧の通り公園も近く、実は記載していませんが公共施設も結構密集していて便利なところです。

1. 新所沢団地自治会概要 ー ① 新所沢団地今昔

◎1959年第1団地入居開始・1961年新所沢団地自治会発足



<完成した新所沢団地>

<自治会結成40周年記念の人文字>

こちらは今昔のビフォーで、実は1959年に第1団地の入居が開始しています。当時のかなり古い写真ですが、団地もこの後1961年に自治会が結成されており、既に63年も経つ、かなり古くから活動している自治会です。1番右は40をかたどったものを人で再現しているもので、私の先輩たちに聞きますと、懐かしく、少し涙ぐむような写真だそうです。

1. 新所沢団地自治会概要 ー ② 新しい時代へ進化する新所沢団地

<完成したコミュニティプロムナード>



<第3団地:改修工事開始>



<自治会60周年記念樹(タイサンボク)>



<ぐリーんぼけっと>

今は低層から高層になり、現代的なマンション型に切り替わっています。左の上は2021年に団地の環境整備工事が終わりました、コミュニティプロムナードと駅からの道が整備された写真です。左下は現在進行形の工事で、右の下はコミュニティサロンです。真ん中は60周年の記念樹を植えたものです。

2.自治会活動のご紹介

1. 自治会活動:年間行事・会合・会報・回覧物 等一覧

- | | |
|--|---|
| <p>①自治会行事
9月 敬老の集い
10月 防災訓練
12月 餅つき交流会
3月 さくら祭り
* 全国統一行動(11月~12月)
* 共同花壇花植え(年2回)
* 環境美化の日(年2回)</p> | <p>②会合
本部役員会(毎月)
班長会
地域行事関連
UR都市機構関連
全国公団住宅自治会協議会関連</p> |
| <p>③出版物
「自治会結成40年記念誌発刊」
結成60周年「在宅避難のススメ」</p> | <p>④回覧物
「行政からの回覧各種」
「公共機関からの回覧」
「自治会ニュース」B4版裏表(年2回)
「自治会NOW」A4版(年10回)</p> |

活動の内容を紹介したいと思います。年間で色々取り組んでいますが、自治会の行事関係、定期的
に開催している会合、記念物の出版などです。60周年は防災関係に力を入れ、「在宅避難のススメ」
というオリジナルの冊子を作って配布しました。右下は回覧物です。自治会、町内会というと回覧がす
ぐ思い浮かべるものと思いますが、行政、公共機関、団地の中に緑町交番という駐在所があり、そこで
毎月発刊している便りを各区にお届けしています。また、自治会独自の会報も配布しています。これ
が、現在の自治会の活動の全体になります。

2. 活動のご紹介:防犯活動

- ①防犯パトロール(常時)
- ②所沢市防犯協会との協力体制
- ③通学見守り隊



個別の活動を紹介いたします。「防犯パトロール」は、年に2回大人数で行うものと、常時必ず駆け
つける役員がパトロールをするものがあります。それから、「所沢市防犯協会と協力体制」では、私ど
ものイベントに協力をいただいたり、小学校の「通学見守り隊」で登下校時に立っていただいたりもし
ています。

季節の行事



4月1日(土) 第7回
11:00~17:00

さくら祭り

さくら祭り

敬老の集い



祝 健康・長寿の集い
敬老の日 9月19日~11月30日まで
場所 ぐりんほっと
新所沢地区自治会

次に季節の行事です。3月末から4月初め頃に、毎年「さくら祭り」という賑やかな祭りを行っています。9月の敬老の日には100人以上の方が集まり、昨年は、団地にお住まいのプロのトランペッターに演奏してもらい、楽しんでいただきました。

地域環境美化



資源回収



こちらは、「地域環境美化」と「資源回収」です。皆様も身近なものだと思います。



こちらは、「子供クラブ」です。お子様、ご家族の方も含めてかなり多くいらっしゃるので、毎年、お子様向けにイベントを行っております。



「クリスマス」や、今では実施することが少なくなっていますが、「もちつき交流会」も行っています。



「防災訓練」は、10月後半頃に行われます。団地の4階から梯子車で脱出訓練を行なっているものです。右上はAEDを使った救急救命の訓練、右下は消火器を用いた訓練です。こういった室外の訓練も行っております。後ほど室内の訓練についても紹介したいと思います。

コミュニティサロンを運営



ぐりーんぽけっとの活用

- 居住者がつながりを感じられる場所を提供
 - ・ファミリー
 - ・ひとり住まい
- 各種サークル活動の場所としても利用



冒頭に申し上げたコミュニティサロンは、9年前に名前を公募し、「ぐりーんぽけっと」という名前でスタートをしました。URと一緒に、団地の一角にサロンを設置し、老若男女が集まる場所になっています。500円のワンコインで昼食を食べられるように値段設定をして、気軽に立ち寄れるように進めています。



最近のトピックス



◎夏休みの研究課題について川越南高校の生徒の皆さんが自治会に取材に来所
テーマ：「SDGsの取組み・自治会活動と若い人の考え」について



共済児童会

共済児童会とは、児童の健全な育成と、児童の生活の安定を図ることを目的として、児童の生活に資する事業を行う団体である。

見舞金の一例

① 自転車
② バイク

③ 現金

所沢市交通災害共済制度のご案内

所沢市交通災害共済制度は、市内に在住する市民が、交通事故に巻き込まれた際に、被害に遭った方への支援を行う制度です。

① 自動車
② 自転車
③ バイク

<市民部交通課の回覧>

最近のトピックスです。川越南高校の方々が、SDGs 活動の一環で地域での活動のヒアリング、意見交換にお越しになり、私達も刺激をもらいました。長くなりましたが自治会活動の全体を紹介いたしました。

3.デジタル化について

1. デジタル化の目的

- ①情報共有の促進
 - ・回覧は平均1週間を必要とするため、タイムラグを防止
 - ・電子回覧版で会員の拡大
- ②住民や時代に合わせたバージョンアップが必要
 - ・誰もがスマホを使う今はデジタル化のチャンス
 - ・記録もデジタル化できる
 - ・ペーパーレスとは言え、紙との併存も当面は継続
- ③自治会活動のすそ野拡大
 - ・会合へのオンライン参加をしやすいすることで、自治会活動への参加者の広がりをめざす



次にデジタル化についてです。「なぜデジタル化を」という意見もありましたが、内部での話し合いの際に、「回覧が回るまでに平均 1 週間ほどかかる、後ろの方は回ってくるのが遅い」という意見があり、そこで、タイムラグを防止するために、電子上で一齐に配信をできないだろうかと考えました。多くの方がスマホを持っている今、それを活用できないかと思いました。それに、発信しますと議事録や資料がそのまま残ります。一方で、デジタル化について来られない方も想定し、ペーパーレスとはいえ、紙との併存も継続し、ハイブリッドな運営を考えています。また、自治会活動が一部の年代に偏っておりますので、フルタイムで働いている方でも参加しやすい環境づくり、と 3 つの目的でスタートしました。

2. デジタル化のステップ

① 推進体制の整備

- ・自治会内にデジタル化推進担当役員を任命
- ・自治会長のリーダーシップ+事務局の複数体制で推進

② 既存のシステムの確認

- ・自治会メールアドレスは、2009年から開通
- ・自治会ホームページは、2019年から運用中
- ・コロナの時期に、自治会の会合の一部でオンライン会議を実施

③ 具体的な推進

- ・スマホでも参加・視聴が可能なデジタル化のベースとして、自治会のLINEをつくり、会報にて登録者を募集
- ・取り組みやすいものとして、自治会の会報をLINEに記載し、登録者に周知した
- ・防災訓練行事(11/4)のリアル開催+配信(ZOOM)を行い、後日、YouTubeにて、視聴可能なものとしている

※各住戸のネット環境については、自治会としては特に確認はせず、居住者に委ねている



次にデジタル化のステップです。具体的には、まず、昨年の4月にデジタルに強いメンバーが加入し、そのメンバー中心にそのスキルを活かして進めようと、それに加えて自治会長と事務局が一緒に行う事から始まりました。既存のシステムの確認では、自治会宛のメールアドレスは2009年には開通させていたものの、それを実際に活用するにはまだまだで、ホームページも遅れていました。2019年にホームページを作り、ご覧いただける状況にはなっていました。また、コロナの時期には本部役員会議も自宅から参加できるように、試行的にオンライン会議を実施し、具体的な推進を図りました。その時に、スマホで参加できるシステムを作ろうと、自治会のLINEアカウントを作成し、紙ベースで回覧を作成した時にQRコードを載せ、登録ができるように順次広げていきました。LINEの友達登録を進め、実際にLINEを開けると、毎月の会報が載っている状況をだんだんと作っていきました。また、昨年の11月4日に防災訓練セミナーを行いました。先ほどは室外での訓練を紹介しましたが、11月4日は室内で実施をしています。団地なので外に逃げない避難をベースにしているところもあり、在宅避難の方法について、先生をお呼びしてセミナーを行いました。それをiPhoneで撮影したものをリアルタイムで配信をして、自宅でも見られるようにし、またYouTubeでも見られるようにしました。各住居のネット環境に関しては、皆様それぞれインターネット環境が違うため、自治会で提供するという事は差し控えました。

【新所沢団地自治会】 防災訓練セミナー (2023年11月4日)



<https://www.youtube.com/watch?v=TqYZ1uqxBQY>

防災訓練セミナーを少しご覧ください。(動画を放映)

「防災専門家ならびにサイエンスクラフト株式会社の取締役防災部長、千葉大学の非常勤講師をされている元谷豊さんです。豊富なご経験、事例を含めご講義いただきますのでぜひよろしくお願ひします。」

「みなさんおはようございます。紹介をいただきました、私は防災専門のコンサルタントで・・・」

このまま流すと約1時間となりますのでこの辺りで止めます。どうしてもこういう画角になってしましますが、左側ではリアルに100人程がお聞きになられています。この状態でスライドをご覧いただくのは不十分ではございますが、リアルな防災訓練を伝えられたと思います。参加できなかった方が、この映像を見ると話した内容を確認できるということでご紹介しました。これが防災訓練の実情です。

参考①：新所沢団地自治会 公式LINEアカウント



参考②：LINE公式アカウントは簡単に作れます。



こちらは、LINEのアカウントの画像です。作るのはそう難しくないことも分かり、現在使っています。

3. 自治会活動：年間行事・会合・会報・回覧物 等一覧

①自治会行事

- 9月 敬老の集い
- 10月 防災訓練
- 12月 防犯パトロール(毎月)
- 12月 餅つき交流会
- 3月 さくら祭り
- * 全国統一行動(11月～12月)
- * 共同花壇花植え(年2回)
- * 環境美化の日(年2回)

③出版物

- 「自治会結成40年記念誌発刊」
- 結成60周年「在宅避難のススメ」

②会合

- 本部役員会(毎月)
- 班長会
- 地域行事関連
- UR都市機構関連
- 全国公団住宅自治会協議会関連

④回覧物

- 「行政からの回覧各種」
- 「公共機関からの回覧」
- 「自治会ニュース」B4版裏表(年2回)
- 「自治会NOW」A4版(年10回)

最初にお見せした全体像です。青色の部分はすでにデジタル化をしている部分です。申し上げたように保存ができますので、後からも確認できますし、資料としても使えるようになっていきます。緑色の部分はこれから順次、行事の都度にデジタル化を広げていこうと考えています。白い部分は残念ながら、デジタル化が馴染まないため、当面はこのまま運用を行うものです。

4. 今後の展望

- ①デジタル化は、あまり構えずに始めてみるのが大切
- ②今後の取り組み課題
 - ・自治会のLINE参加者の拡大を進める
 - ・紙との併存をいつまで継続するか検討等
 - ・自治会費集金のキャッシュレス化の取組み
- ③より安全・安心な団地生活を支えられるようこれからも取り組んでまいります



今後の展望です。デジタル化は、あまり構えずに始めてみるのが大切かと思えます。とはいえ、LINEの参加者の拡大を進めていかなければなりません。登録者は200名ほどですので、まだまだです。紙との併存もいつまで継続できるか検討が必要です。また、自治会費のキャッシュレス化など、世の中のツールの進歩をキャッチしながら進めたいと思います。いずれにしても様々な活動を通して、安全安心な団地生活を支えられるよう今後も取り組んでまいります。色々とお聞き苦しいところもございましたがご容赦ください。ご清聴ありがとうございました。



講評

【木宮先生】

発表ありがとうございました。今回の発表は、団地の自治会の取組という内容でした。全国的にも、昭和の40年代あたりから作られた大きな団地で、様々な課題を抱えている中で防犯活動はもちろん、様々な地域活動が少し困難になっているところを課題として挙げられている中で、今回の取組などの部分はかなり参考になるのではないかと思います。入居率は結構高い団地でしょうか、中には入居者そのものが減ってしまって、非常に維持が難しい団地もありますけれども、立地の面などで入居率が高い団地にも、様々な課題はあると思います。新しい入居者も増えて、最初の頃から住んでいる方もいれば、途中から引っ越して来られる方、中には様々な世代の方が混在している中で、自治会の会員数を増やすということも、課題であると思います。数字を見ると、自治会の会員が1000世帯、団地の世帯数は2387ということで、会員は大体40%ぐらいでしょうか。自治会に入っていない方にどうアプローチするのか、自治会の活動そのものは自治会員、団地で活動していますから、自治会員でない方にも同じサービスを提供しなければいけない、ということが非常に大きな課題ですね。これは、日本全体の団地の課題としてあると思います。ただ、防犯活動そのものとして捉えるならば、団地の中の安全性の向上は、団地に住んでいる自分たちでやるんだ、という考え方は非常に重要で、自分たちのできることをやるという姿勢は多くのところで見習って欲しいと思います。また、デジタル化ということは、人が徐々に減っていくような中で、できるだけ労力を減らすということも大事ですし、またご紹介にあったようなスピード化も大事です。これを踏まえ、デジタル化していけるところは進めていくということが、今の時代に合った方法だろうと思います。そのような中、高齢者の多い団地でどの程度のことができるのかと、なかなか一歩が踏み出せないところもあると思います。高齢者が中心のところ、高齢者を置き去りにするようなことになるのでは、というご意見が出てくるのは容易に想像できます。実際にやってみると、少しのことでもできるようになり、むしろプラス面が大きいというお話は、他の団地の方々にも非常に参考になるところかと思えます。また、広報物、自治会運営をデジタル化していく、というご紹介でしたが、これが進んでいくと、防犯活動そのもののデジタル化、ということにまでおそらく可能性が広がるかと思えます。元々の目的は、人の繋がり、孤独を防止する、多くの特に単身の高齢者の方に対して、普段のコミュニケーションとかを維持することですので、デジタルを活用すること

により、日々の繋がりを維持したり、また様々な双方向の関係性を築くというように見えてくると思います。今はコミュニティスペースに行き、そこで顔を合わせてということができない方もいらっしゃるかもしれないし、時間的に難しい方がデジタル上で繋がっていくと、デジタルコミュニティを作れて、孤独を防止するところまでに繋がっていくかもしれないと思います。まずは、デジタルのいろいろな器機を使えるというのが大前提ですので、運営広報から慣れていただければ、一步先の活用というところも将来的には十分期待もできるし、そういう先駆的な事例が出来上がれば、本当に全国の多くの自治会団地の悩みを解消するところに繋がる可能性を感じました。ぜひ今後も期待していますので、頑張ってください。

淑徳大学学生防犯パトロール隊（千葉県）



淑徳イーグルアイズ 活動内容報告

報告者：淑徳大学総合福祉学部社会福祉学科 4年 杉田 大晃
淑徳大学総合福祉学部社会福祉学科 3年 巽 力哉

これから淑徳イーグルアイズの活動内容報告を始めます。報告者の淑徳大学社会福祉学科 4年の杉田大晃と、同じく社会福祉学科の3年巽力哉です。本日はよろしくお願いします。

目次

01 自己紹介

02 サークルの生い立ち

03 加入したきっかけ（杉田・巽）

04 ボランティア活動報告

05 今後の活動への取り組み

今回の発表の目次です。私たちの自己紹介を行いまして、その次にイーグルアイズの生い立ち、3つ目に私たちが加入したきっかけ、次にボランティア活動報告、最後に今後の活動についての取り組みという順番で発表します。

自己紹介



スギタ ダイキ
杉田 大晃

出身地：千葉県
学科：社会福祉学科
学年：4年
役職：元イーグルアイズ代表
趣味：散歩・柔道



タツミ リキヤ
巽 力哉

出身地：千葉県
学科：社会福祉学科
学年：3年
役職：イーグルアイズ代表
趣味：ゲーム・読書

改めまして、私は杉田大晃と申します。出身は千葉県で、社会福祉学科に所属しています。学年は4年生でイーグルアイズの元代表です。趣味は散歩と、小学生から始めた柔道です。

次に私の紹介をさせていただきます。私は巽力哉と申します。出身地は同じく千葉県で、学科も同じく社会福祉学科です。学年は現在3年生で、現イーグルアイズ代表です。趣味は、ここに書いてあるとおりゲームと読書です。

サ
ー
ク
ル
の
生
い
立
ち

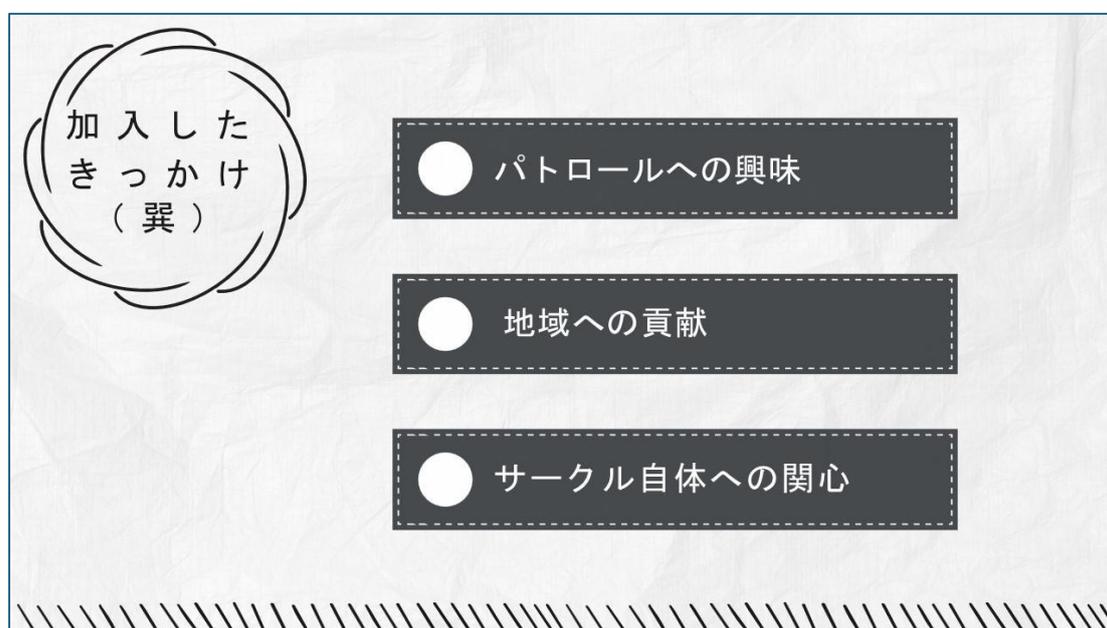
淑徳イーグルアイズ（SEE）は、安心安全な環境づくりに貢献したいとの考えの元に2010年6月に設立。

卒業した先輩から車をいただき、その車を青色パトロールカーとして使用している。

それでは、イーグルアイズの生い立ちについてお話しします。淑徳イーグルアイズは安心安全な環境づくりに貢献したいとの考えのもと、2010年6月に津田先輩によって設立されました。

当時は約40名以上の部員が在籍していましたが、コロナの影響により、現在は20名で活動を行っ

心配をしていました。ですが、そんな私に親身になって対応してくれた警察官の方に憧れを抱き、警察官を志望するようになりました。そして2つ目が、「地域の人役に立ちたい」という思いを持っていたからです。元々子どもの頃から、誰かの役に立てる人間になりたいという思いと、正義感を抱いておりました。大学生になり、ほぼ1日大学で生活することになり、その時に地域の人と関わりを持ちたいという思いが強くなりました。そして、地域の人たちが安心して暮らせるまちづくりに貢献したいと思い、淑徳イーグルアイズに加入しました。そして最後は「経験を積みたい」という思いを持っていたからです。これは1つ目の理由と少し被るのですが、警察官になりたいという思いだけでは警察官になれないのではと考えていました。そんな時に地域の防犯に学生の頃から携わってきたという経験を、警察官採用試験の時に話することができることと、警察官になった後もその経験が役に立つのではないかと、淑徳イーグルアイズに加入しました。



【発表者 異】

次に、私が加入したきっかけをお話します。私がイーグルアイズに加入したきっかけは、ここに記載されてあるとおり、パトロールへの興味があったこと、地域への貢献になるのではと思ったこと、そしてサークル自体への関心があったことです。これらをそれぞれ説明すると、パトロールへの興味は、最初にイーグルアイズの活動を聞いた際、パトロールを行っていることを知り、自分が大学に入学当初のサークルのイメージとは全く違うもので、実際にイーグルアイズの活動に参加してみて、どのような感じなのかを体験することによって、確かめたいと思ったことが理由の1つです。またそれをするによって、自分が誰かの役にたつのではないかという気持ちが同時にありました。

そして2つ目の地域への貢献は、先ほどの部分と被りますが、パトロールに参加することで、地域の子どもの安全を守ることに繋がったり、淑徳大学自体が福祉の大学ということもあり、誰かの役に立ちたいと思えるのが根底にありますので、パトロールを実施することで地域の安全を守ることに繋

がること、すごく魅力的に感じたので、加入しました。3つ目のサークル自体への関心は、これも先ほどと重複する部分がありますが、大学に防犯ボランティアを売りにしているサークルがあること自体、入学当初珍しいと思っていました。今は意外に珍しくもないのかなとも思っていますが、当時はすごく新鮮で、活動内容から大学生活の中で自分が成長できる体験をすることができるのではと思い、サークルへの興味が湧いてきたというのが加入のきっかけです。

活動報告

▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽



地域防犯パトロール

大学周辺を徒歩や青色パトロールカーを使用しながらパトロールを行っている。また、徒歩の時にはごみ拾いも行いながら活動している。

次は活動報告です。まず1つ目の活動報告として、地域防犯パトロールをイーグルアイズは行なっています。この活動は文字通り、地域の安全を守るためのパトロールを行うもので、私たちイーグルアイズの主な活動となっています。大学周辺や、近隣の地域を徒歩や先ほども紹介した青色パトロールカーを使用しながら活動を行っております。また、スライドにも書いてあるとおり、徒歩での活動の際はゴミ拾いも行いながら活動して、青色パトロールカーを使用する際には、車についているマイクを使い、防犯の呼びかけを同時に行っています。

活動報告

▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽



- 千葉県庁や市役所等から要請を受けて啓発活動を行う。
- また、防犯ボランティア団体「ブルー・スターズ」の活動に参加している。

次に啓発活動について説明します。この活動は、千葉県庁や市役所等から要請を受けて啓発活動を行います。また、防犯ボランティア団体のブルースターズの活動で、チラシや啓発物の配布であったり、呼びかけに参加をしています。ブルースターズの説明は、時間の都合上、割愛しますが、千葉県警のホームページに記載があるので、興味をお持ちの方はぜひ調べてください。

活動報告

▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽



防災・防犯フェア

- 千葉県警察・千葉市消防局・日本赤十字社千葉県支部・千葉市防災普及公社の4つの団体をお呼びし、学生・地域住民の方が防犯や防災に興味を持ってもらい、
- **学生・大学・地域**
- の3者が共に防犯・防災へ取り組む「モデル校」になるようなイベントを開催した。

次に「防災・防犯フェア」という活動を紹介します。「防災・防犯フェア」というイベントを淑徳大学では、1年に1回開催するようにしています。

こちらは千葉県警察、千葉市消防局、日本赤十字社千葉県支部、千葉市防災普及公社の4つの団体を呼び、学生、地域住民の方に防犯や防災に興味を持ってもらい、学生、大学、地域の3者が共に防犯・防災へ取り組むモデル校になるようにイベントを開催しております。また、このイベントはコロナ前から行なっていましたが、その時は防災フェアという名称で学生対象のイベントでした。しかし、私がい

イーグルアイズの代表になった際、千葉市消防局、日本赤十字社、防災普及公社の方と接点を持っていたことから、防犯についても、地域住民の方の力で防ぐことができるのではと考え、学生のみならず地域住民も対象としてイベントを開催しました。その甲斐もあり、NHKでも取り上げていただき、約700名もご参加くださいました。また、このイベントは今年も開催する予定です。もしお時間がある方がいらっしゃいましたら、ぜひお越しください。お待ちしております。

活動報告

活動報告

しやすい運動



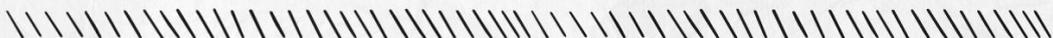
The poster is yellow with black and red text. It features a photo of a person walking on a path. The text on the poster includes: 'しやすい運動 実施中' (Easy Movement Implementation), '喫煙所でのたばこのポイ捨て やめよう!!' (Stop throwing cigarettes in the smoking area!!), 'コンビニ周辺での飲食・喫煙 やめよう!!' (Stop eating and smoking around convenience stores!!), and '近隣の駐車場への迷惑駐車 やめよう!!' (Stop parking in a way that disturbs nearby parking lots!!). It also has a small section titled '【しやすい運動とは?】' (What is Easy Movement?).

大学内や近隣のコンビニ等をパトロールし、学生たちの迷惑行為を減らす運動を実施中。

最後に「しやすい運動」という活動を紹介します。今年に入り、大学周辺のコンビニエンスストアや大学校内での迷惑行為が多発したことで、大学からも再三メールが来てました。大学周辺のパトロールも大切だが、まずは大学生の意識から変えようと、今年から始めた活動です。この名称には、意味が2つあります。1つ目は、学生同士年齢が近いからこそお願いをしやすい、という意味と、2つ目は、迷惑行為はしやすい行動で減らしやすい、という意味です。学生が少しでもしやすいなと思ってもらえるように、簡易的なポスターを作成したり、またイーグルアイズの学生が校内の喫煙所やコンビニエンスストアなどを見回ることにより、学生の意識を少しずつでも変えていこうという活動になっています。こちらの活動はキャンパス内の学生厚生委員会、千葉県の大学学生厚生研究協議会などでも学生の取り組み事例として取り上げていただきました。これからも継続して行なっていきたいと考えています。

今後の活動への 取り組みについて

- 防犯パトロールの継続
- 地域住民等への防犯意識の向上のための活動の実施
- 他の学生に対する活動の周知



最後に、今後の活動への取り組みについてお話しします。まずは、防犯パトロールの継続です。防犯パトロールを継続して行なっていくことで、地域の治安維持に引き続き貢献をしていくことに繋がると思っていますので、続けていきたいと考えています。2つ目は、地域住民等への防犯意識の向上のための活動の実施です。これは1つ目と重複しているところがありますが、徒歩や青色パトロールカーを使ったパトロールを行う際に、呼びかけも同時に行なっています。最後の項目にも繋がるのですが、地域住民だけではなく淑徳大学の学生にも防犯意識を高めていって欲しいと考えているため、これからも行っていきたくと思っています。3つ目は、他の学生に対する活動の周知です。現在、イーグルアイズの活動参加者はコロナ禍を経て減っているため、活動頻度を増やし、SNSの積極的活用などをして私たちの活動を知ってもらえるようにしていきたいと思っています。

公式SNS

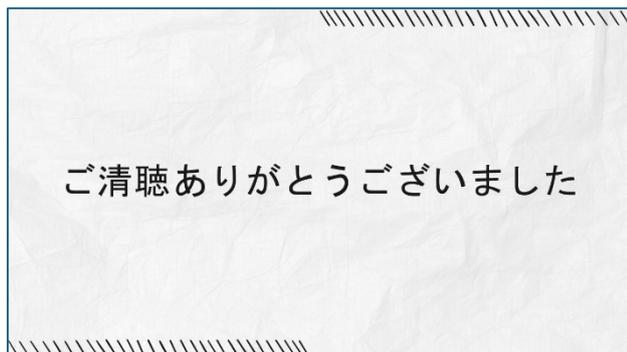
Instagram : @SHUKUTOKU.EAGLE_EYES

淑徳大学イーグルアイズ（防犯サークル）



こちらは、淑徳イーグルアイズの公式Instagramです。活動報告も投稿していますので、よろし

ければ「淑徳イーグルアイズ」と調べて、ぜひフォローをお願いします。ご清聴ありがとうございました。



講評

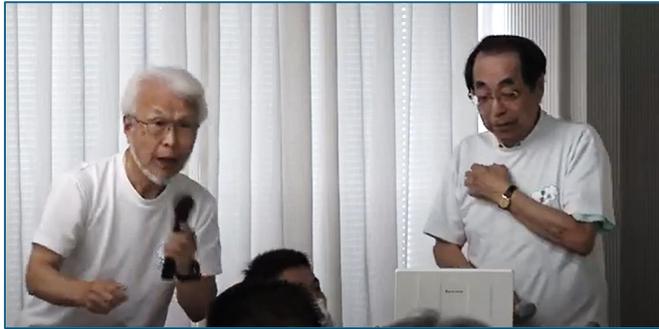
【木宮先生】

発表ありがとうございました。先ほどの日本文化大学さんと同様に、大学生のサークル活動ということで非常に頼もしいと思います。特に今回は、青パトを自分たちで所有しているということです。車両そのものは先輩からもらったとしても、維持していくことは、費用的にも大変な部分もありますし、また、車はいずれ換えなければいけない時 comes。もちろん、これまでも大学生の青パトという例があり、大学所有の公用車を使ったり、青パトを借りたりというケースはありますが、自分たちで消費するというのが、非常に稀なケースかなと思います。ただ、そのことで、すごく機動力が増すという利点もありますから、車両を維持する工夫とか、その課題とか、大学生で同じようなことを考えてるサークルがあれば、うまく共有して欲しいと思います。

それから、大学周辺の大学生の迷惑行為という話がありました。小さなモラル違反をできるだけなくすことで、地域の防犯力を高めたいとのことですが、犯罪から身を守るという考え方ではなくて、自分たちが迷惑行為などをしないということで、地域の防犯力を高めよう、という考え方は実際に非常に大切です。サークルのメンバーが、というわけではないですが、同じ大学に通う同じ大学生に対して、意識を高めて、そういう方々の行動を変えるということで地域も変わるんだ、という考えでの取組も面白いと思いました。

あと、例えば日本文化大学さんとか他のフォーラムでも大学生の発表があるように、最近は、大学で防犯ボランティア活動をしているサークルさんが増えてきて、SNSなどで発信をするようになりました。その中で今後は、他の団体との繋がりや交流が求められるようになるのでは、と思います。今日も2団体が来ていますから、これをきっかけに、いい関係を築いていったら、お互いに参考になるような活動例とか、一緒に取り組める活動等が出てくると思います。今日来ていない大学や、どうしていいかわからない大学生もいるでしょうし、また活動に行き詰まっているようなサークルもあるかもしれませんので、自分たちの大学のサークルという意識だけではなく、日本中の大学生をうまく巻き込んで、若者の力を結集して、シンボリックな存在になって欲しいと感じます。ぜひ情報発信を積極的にしてください。ありがとうございました。

ながの男の脳喝倶楽部 (長野県)



ながの 男の脳喝倶楽部

～活動内容のご紹介～

令和6年7月27日
関東ブロック防犯ボランティアフォーラム



名前も異様で発表内容も異様かと思いますが、始めたいと思います。まずは替え歌ソングです。知っている人も知らない人も手拍子で一緒にどうぞ。

<替え歌を披露>

特殊詐欺シリーズ 第1弾

長野中央警察署 好認

A

舟木一夫 銭形平次 の替え歌で

一 じいさん ばあさん
サギには気をつけて
かわいい孫だと 言い寄って
悪い奴らが 悪い奴らが ねらっているよ
やっと貯めた 老後の資金
だまし取られる みんな取られる
金(ぜに)が飛ぶ



千昌夫 北国の春 の替え歌で

二 不審な電話の 対策は
留守電に 会話の録音が
あゝ録音がいいね
ニセの警察やニセ銀行員が
キャッシュカードの すり替え狙ってる
訪ねて来ても 渡さない
詐欺だから



ニセ警官に注意を



キャッチフレーズ

脳に夢を
脳に愛を
脳に喝を



12040

BEOMen(Brain Exercise Club for Men)



わたしたちは

ながの

男の脳喝倶楽部

です



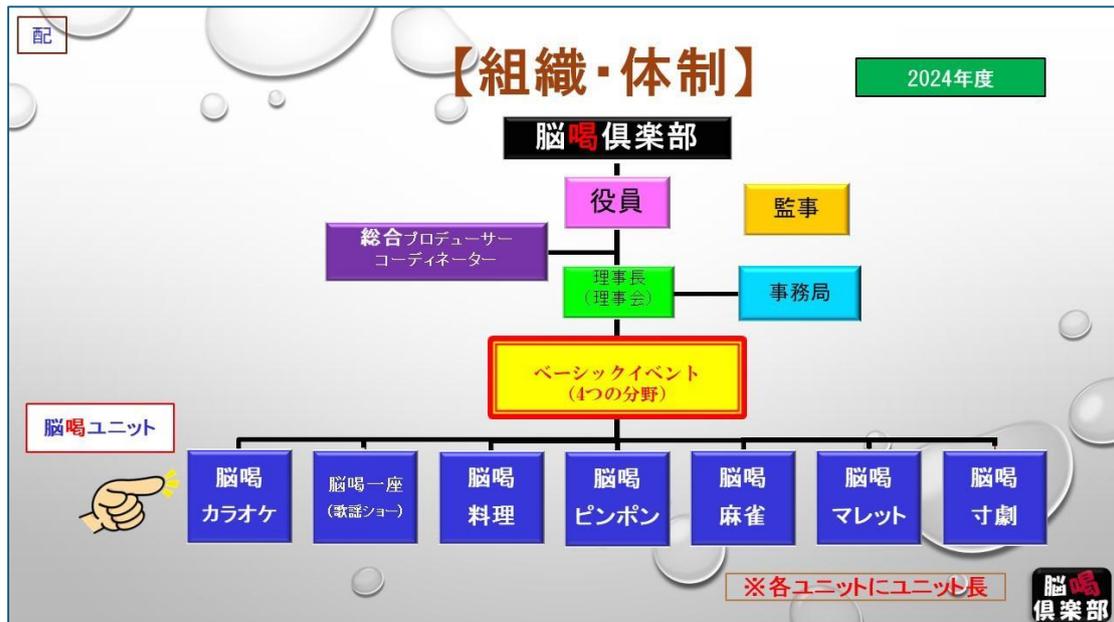
皆さんが自分の大切な時間を心置きなく過ごすことができる空間・お場所

BEOMen(Brain Exercise Club for Men)



はい、ありがとうございました。これはキャッチフレーズです。「脳に夢を、脳に愛を、脳に喝を」。

私たちは、ながの男の脳喝倶楽部です。よろしくお願ひします。映像では色々活動している写真が載っています。



脳喝倶楽部は36名の小さな団体ですが、組織だけはしっかりとしています。いろんな役員がおり、総合プロデューサー、今日キーワードになる「脳喝一座」はユニット制を組んでいます。

説明者

総合プロデューサー 桑野康夫 (71)

ディレクター 三上治男 (76)

15:26



そんな中で総合プロデューサーの桑野とディレクターの三上の2人でご説明をしていきます。

「ながの男の脳喝倶楽部」とは、定年後の男性の地域とのつながりを作りたいということで、2017年に設立をいたしました。当時12名で設立したのですが、少し人気が出て36名となり、平均年齢が約76.4歳となっています。テーマは「明るく、楽しく、面白く」という、普通は、大体ここに「元気」が入るのですが、我々は面白くやっていきたいと考えています。そして、とにかくバラエティなイベントを行おうと、年間100を超える企画運営をしています。今年度は、130数回だったと思います。

ながの 男の脳喝倶楽部とは

「定年後の男性の地域とのつながり」を作りたい

- 2017年2月設立
男性限定 36名
- 【テーマ】明るく
楽しく 面白く
- バラエティなイベント
年間100回以上活動
- ①地域知見 ②男の料理
③福祉ボランティア
④自己研さん(健康・農園他)
- ボランティア活動の割合
1/3
- 令和5年
内閣府 社会参加章
受章

どんなイベントを行っているかといいますと、大きく分けて 4 つのカテゴリーがあります。歳はとっているが地域を知らない。仕事で職場と自宅の行き来だけの方が多いと思います。

そこで、1 番目に「地域知見」で、これから地域をもっと知ろうということで、地域の有名な企業見学、史跡巡りをしています。

2 番目は「男の料理」といまして、定年退職した人がだいたい通る道で、すぐ辞める方も多いのですが、年 3 回やっています。

3 番目は「福祉ボランティア」といまして、この福祉ボランティアは我々のようなシニアになって、この年になってできるボランティア、恩返しがあるのではないかと、環境美化や施設訪問などを行っています。

そして、4 番目は「自己研さん」です。退職した方が、まだまだできることがある、もっとやりたいことがある、1 人ではできないけれど団体ならできるということで、自己研さんの活動をしています。社会講座を受講するとか、スポーツもいろいろやっています。例えば、卓球、マレットゴルフ、グランドゴルフ、ノルディックウォーキング。そして、土いじりをしたいということで農園を 100 坪借りて畑を耕しています。今回は防犯ボランティアフォーラムということですが、我々は全体の 3 分の 1 しかボランティア活動をやっていないような状況です。

そんな脳喝倶楽部ですが、昨年に内閣府の社会参加章を受賞しました。また後ほど細かいところは説明をいたします。

⑥

男の脳喝

作詞 諏訪野 やくお

一 長いお勤め 終えました
「あなた ゆっくりしましょう」と
ひと月ふた月 あゝ三月まで
家に居れば 粗大ごみ
さがすよ居場所を 男の脳喝で

二 家に役割り ありました
お風呂に トイレに ゴミ出しと
俺だっって俺だっって 女房のように
元気で楽しく 出かけた
シニアライフを 男の脳喝で

三 脳喝カラオケ(脳カラ)
脳喝スポーツ(脳スポ)
脳喝麻雀(脳雀)と
男の料理に ボランティア
自分のキャリアが きつと活かせます
地域の仲間と繋がって
いきいき輝く 男の脳喝は

四 脳喝入って 知りました
地域のよさと ありがたさ
支え 支えられ 人生百年を
明るく 楽しく 面白く
つづくよ未来(あした)へ
男の脳喝は

脳喝倶楽部

脳喝クラブには今替え歌を歌いましたが、脳喝倶楽部には歌があります。脳喝倶楽部がなぜできたのか、何をやっているのか、将来何をするのかという、倶楽部歌を作りました。少しナレーションをしてみたいと思います。

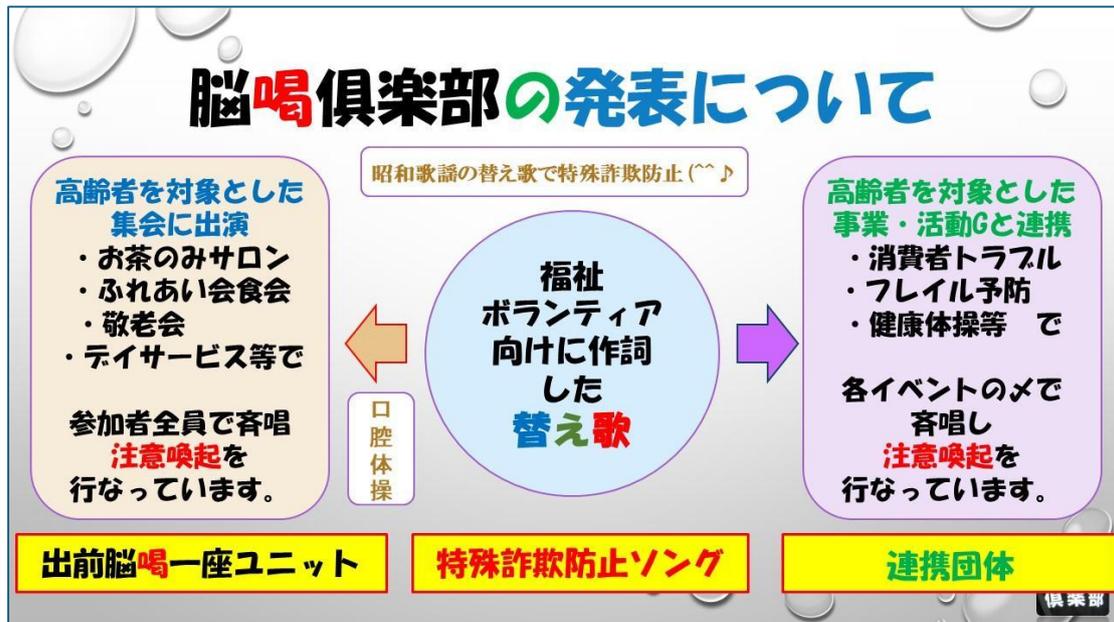
「長いお勤め 終えました 『あなたゆっくりしましょう』と ひと月ふた月 あゝ三月まで 家に居れば粗大ごみ さがすよ居場所を 男の脳喝で

脳喝カラオケ 脳喝スポーツ 脳喝麻雀と 男の料理にボランティア 自分のキャリアがきつと活か
せます 地域の仲間と繋がって いきいき輝く 男の脳喝は」

これをイベントの際にみんなで歌って一体感を保っています。



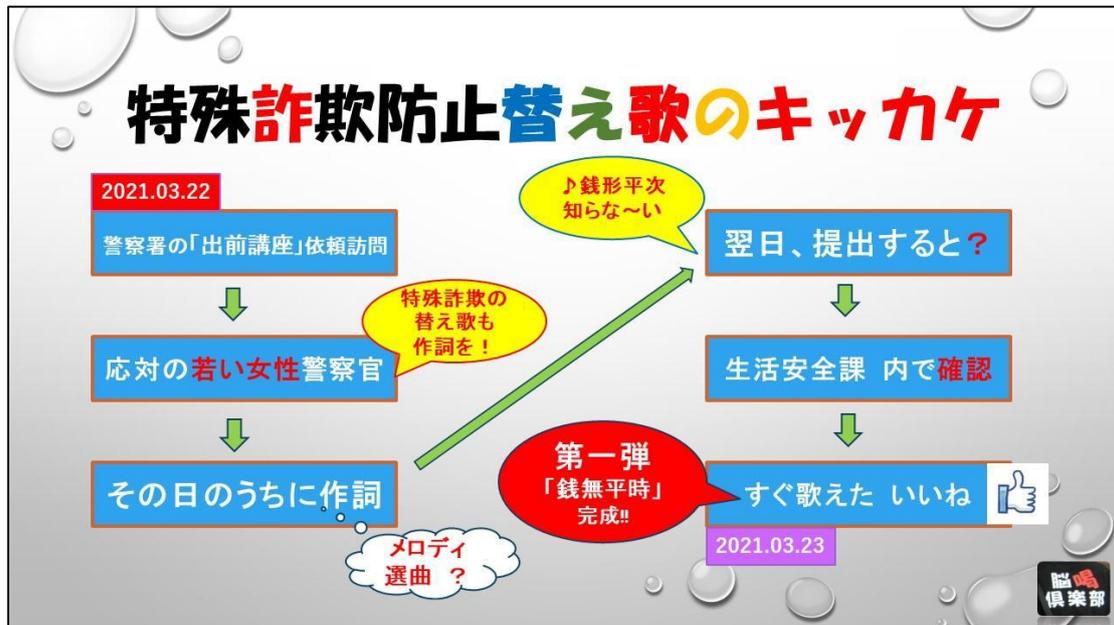
これは、内閣府から章をいただいた時の長野市民新聞で、長野市を中心に7市町村に配布されていて、発行部数は3万程だったと思います。ここに赤字で書いてありますが、特殊詐欺防止の替え歌に関しても記事に書いています。



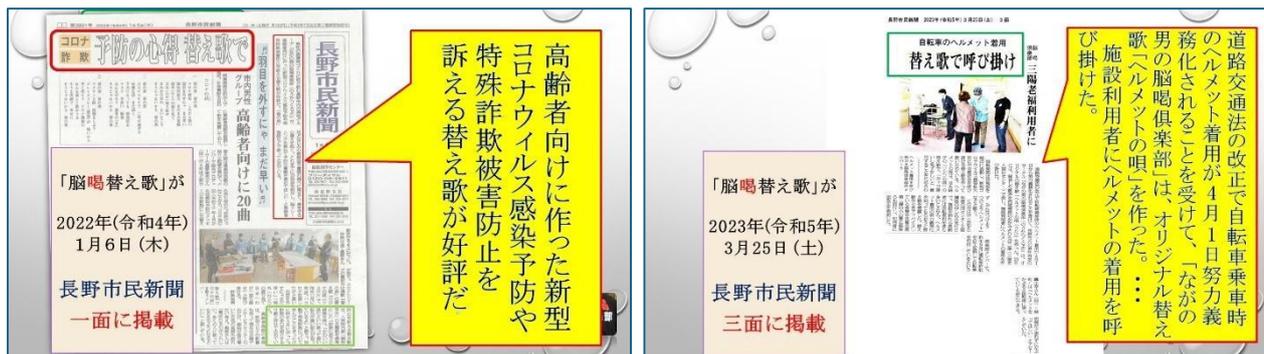
今日は脳喝倶楽部の異様な発表ではありませんが、昭和歌謡の替え歌で特殊詐欺防止の活動です。一番最初は施設のボランティア訪問から始まりました。その際はコロナが流行っていた時期でしたので、コロナの防止の替え歌を作り、利用者の方と一緒に歌いました。これが、今では特殊詐欺防止の歌になり、今日紹介したいと思っています。

高齢者を対象とした集会に出演しています。36名全てが行くわけではなく、「出前脳喝一座ユニット」で、メンバーを募り、出られるメンバーがお茶のみサロン、ふれあい会食会、敬老会、デイサービスといった詐欺の対象になりそうな年齢の方が集まるところへ出向いています。

これは我々が自主的にやっていますが、替え歌を提供すれば他の方もやってくれるだろうと思い、高齢者を対象とした事業や活動グループとも連携をしております。長野県消費者連絡協議会や地域包括支援センターとも連携しており、消費者トラブル、フレイル予防、健康体操といった自分たちのイベントが終わった後に、せっかく集まったので注意しようねということで、替え歌を歌って、最後に注意喚起を行っております。



特殊詐欺防止の替え歌を作ったきっかけは、今から2年半程前、警察署の出前講座があるのですが、我々も長野中央警察署に講師の依頼をしに行きました。そこで運命だったと思うのですが、若い女性の警察官の方が対応してくださいました。「脳喝さん、コロナの歌を歌っていますよね。今コロナと同じぐらい特殊詐欺が流行っているので、特殊詐欺防止の替え歌も作れませんか」という依頼があり、その日のうちに作って、翌日に持っていきました。「内容はいいですね。すみません。でもこの元歌となる銭形平次は知らないんです」と言われました。無理ありません。警察の方は30代半ばです。そこで、生活安全課の50代ぐらいの警察官の方に見ていただくと、すぐに歌えました。ということで、替え歌の第一弾の「銭無平時」が生まれたわけです。



その翌年になると、正月の長野市民新聞に掲載されました。高齢者向けに作った新型コロナウイルス感染予防や特殊詐欺被害防止を訴える替え歌が好評だということで、「コロナと詐欺、予防の心得を替え歌で」という内容で新聞に載り、「私もやりたい」と言って会員が増えました。実は特殊詐欺だけではなく、交通課にもお邪魔しておりまして、昨年自転車のヘルメットの努力義務化にあわせて「ヘルメットの唄」という、お年寄りの方はだいたい知っている「りんごの唄」で替え歌を作りました。警察の方と一緒にチラシを配り、音楽を流し、替え歌を歌いながら活動を行いました。

替え歌の曲数

特殊詐欺防止ソング	25曲
交通安全ソング	10曲
コロナ感染防止ソング	30曲
その他	約 21曲

替え歌の曲数は、現在このようになっています。特殊詐欺 25 曲、交通安全 10 曲など、合計 80 曲を超え、替え歌を楽しんでいるグループとなっています。

出前脳喝一座歌謡ショーのようす



先ほどユニットが出かけて行くと申しましたが、脳喝一座はこのような風景です。1 時間から 1 時間 10 分ほどで上演をし、お年寄りですから誤嚥をしないように、口腔体操をしてから脳喝メンバーが歌い、参加者にそのあと歌っていただく「のど自慢大会」をしています。どんな方でも合格の鐘が鳴るといった仕掛けでやっています。「お茶飲みサロン」、「ふれあい会食会」などは、コロナが 5 類になった昨年の 5 月以降に活動したものです。最後に全員で注意喚起の歌を歌います。

警察×脳喝 特殊詐欺防止講座のようす①



もう1つは、警察と脳喝で「特殊詐欺防止講座」をコラボでやることもあります。会場は公民館や自治会などです。前半は警察官の講話、長野県警で作られているDVDの視聴、その後に質疑応答です。

我々単独でやる際は、ちょっとした寸劇も行います。また替え歌をみなさんと一緒に歌います。チラシなどを見るよりも、自分で口に出して歌うとすごく記憶に残ります。

警察×脳喝 特殊詐欺防止講座のようす②



もう1つ写真があります。



最後に歌う歌は、参加している方の年代が違うので、あらかじめボードを用意して選んでもらい、だいたい2番までみんなで歌っています。

他団体との連携で防犯活動 ①

・長野県消費者団体連絡協議会「消費者トラブル事例研究懇談会」

◆【目的】

消費者トラブルをなくし県民が安心してらせるまちづくりをめざして、行政や多様な地域の関係者と共に、最新の情報を共有し、消費者被害の事例を材料に参加者全員でワークショップを行います。

特殊詐欺にスポットを当て、行政、消費者、ボランティアが一堂に会して特殊詐欺防止のための対策を協議する場に参加し、替え歌でも協力しています。⇒2024年度も

他団体との連携というのは、長野県消費者団体連絡協議会の「消費者トラブル事例研究懇談会」で詐欺の事例を発表して、その後、参加者とワークショップを行います。その時に、特殊詐欺にスポットを当て行政、消費者、ボランティアが一堂に介して、特殊詐欺防止のための対策を協議する場に、我々も参加させていただいて替え歌を歌っています。我々が出席できない時も替え歌を提供しています。22年度から行っており、今年度も長野県下9会場でオファーが来ています。



これが、その写真です。事例発表をしたあとワークショップをして発表をしています。ワークショップで、いきなり「どうぞ」と言っても難しいので、ここのリーダーに声をかけていただきまして、我々の替え歌もアイスブレイクとして活用していただきました。

「他団体との連携その②」についてです。健康体操では、男性は少なく女性は多いです。終わった後にみんなでランチに行くなどしています。このように体育館を使用して「リズム体操」や「健康体操」をしています。終わった後に輪を作り、真ん中にスマホを置いて、替え歌を入力し、カラオケを流して、皆様と一緒に歌うことをしています。



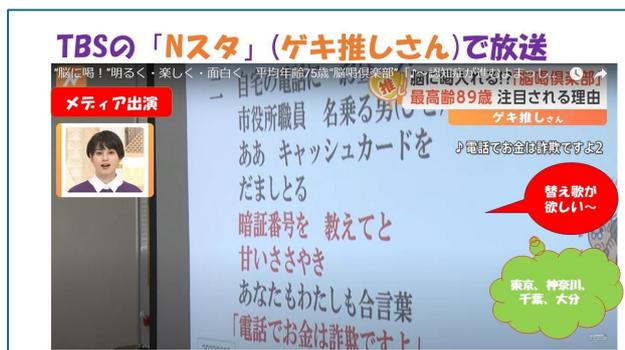
あとは、「100人の会」というのがあり、この写真は、今回千葉に行く（今年度の防犯フォーラムの開催会場）ということを使うと、この写真を持って行ってと言われたので、その写真です。終わったら、こういった格好で輪をつくり、スマホとスピーカーを使い、Bluetoothで繋いで、音楽をかければすぐに歌えます。体操がメインで、最後に替え歌を歌って締めています。この地域連携のエピソードですが、「リズム体操」の教室で替え歌を配った時、その生徒さんに、たまたまデイサービスの職員さんがおられました。デイサービスの方で希望する利用者の方に歌を配り、受け取った方は電話の近くに歌を貼っておいたそうですが、不審な電話がかかってきた時に、これを見て「この歌と同じだ、詐欺だ」と思い出し、電話を切ったという報告がありました。こういったことでも役に立っていると思い、活動を継続しています。



また地元にも SBC 信越放送があり、メディアでも配信をしています。今年の3月、信越放送のラジオですが、「笑顔で元気 WEEK」の2日目に我々の収録があり、その際は我々が「投資詐欺」、「ヘルメットの唄2024」という歌を歌いました。我々の活動拠点に、ラジオのレポートカーがきてそこから放送をしました。



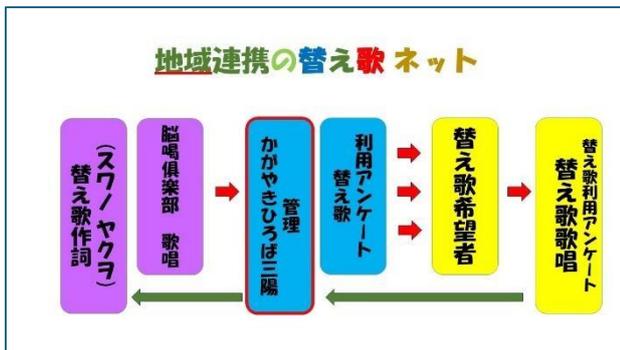
それ以外にも全国版で TBS の N スタの「全力で応援するゲキ推しさん」で特集をしていただきました。最高齢者 89 歳、年齢にとらわれず自由に生き生きとした生活を送る高齢者グループを表彰しようというものでした。



ちょうどこの時に一部「有楽町で逢いましょう」の替え歌が載り、東京、横浜、大分から替え歌が欲しいと要望があり、お送りいたしました。



そんな縁で、替え歌ネットワークフレンドリーという組織体を作りました。「ジャパンパロディーネットワークフレンドリー」、省略すると「ジャパンフレンドリー」で、会員登録をしていただくと、替え歌とかアンケートを送ります。それぞれのところで歌っていただいた後、アンケートや動画が戻ってきて、こんなメロディが欲しい等のアンケートもいただけるため、継続性があるやり方です。



地元の「かがやきひろば三陽」という老人福祉センター施設があり、ここにとてもご協力をいただき、替え歌を作る、我々が歌う、替え歌をかがやきひろばが管理する、欲しい人に提供、アンケートが戻ってくる、こういう方法で地域と連携して、注意喚起を行っています。右は三陽老人福祉センターで、地域連携の要「かがやきひろば三陽」ということで、その中に脳喝クラブもあります。

地域連携の要 かがやきひろば三陽



入り口にはいただいた表彰状と楯、それと、我々の仲間に県知事賞をもらった達筆の方がいて、色紙に歌詞を書いて貼ることによって広めています。

課題と対策

1. 元歌がすべてわからない

【対策】歌詞に「QRコード表記」でスマホですぐ斉唱 

2. 出前脳喝一座の出演者調整・・・日程調整 月3回以上上演

【対策】脳喝一座ユニットのメンバー募集 カラオケ審査

3. 替え歌の枯渇 詐欺事案との闘い・・・特殊詐欺の撲滅願う

【対策】① JPNFでのアイデア、ヒントで継続力アップ

② リバイバル、ニューバージョンで対応(先祖返り対応)

課題と対策を一気にお話しします。

シニア防衛運転シリーズ 第10弾

長野中央警察署 好認

変更禁止

じゅんしゅ せんせい
遵守宣誓

～交通事故～

お知らせ
替え歌を必要な方へ

QRコードの
説明

「せんせい」
間奏歌唱

YouTubeの
カラオケが流れます。
メロディーに合わせて
歌ってください。

20240410

せん 巨言!! せい

自転車の時 ヘルメット
自分の未来を守るため
フックもしっかり 留めてよね
安心安全 大丈夫
自転車軽快 さわやかに
そよ風なびかせ 走ります
宣誓 宣誓
法規まもります

自転車走行 車道です
左ラインを キープして
歩道を走る その時は
車道寄りを 走つてね
一時停止線 止まりましょう
信号も必ず 守つてね
宣誓 宣誓
法規まもります

自転車クラブ

1 番目。替え歌のサビは知っている、だけど全部はわからない場合は、替え歌のところに QR コードを入れてあります。これは、YouTube に繋がるようになっていてカラオケとして使っていただけます。替え歌の元歌を聴きなさいという、替え歌はただやっているだけではなくて、「元歌を尊敬する」という使命のもとで作っています。

それから 2 番目の「出前脳喝一座の出演調整」、現在は月に 3 回以上上演をしています。14 名でメンバーの約 3 分の 1、月 3 回ですが、9 月の敬老会がある時は月 6 回になり、人が足りない状況です。

月例カラオケで 脳喝一座メンバー審査会

出前脳喝一座ユニット
審査員

出前脳喝一座ユニット
メンバー入り希望者

2024/06/05 13:14

「俺は脳喝一座に入らない」と言う方も、強引に月一回のカラオケで、メンバーの審査をしています。

脳喝替え歌 は、「特殊詐欺と交通安全」

長野中央警察署

公認 じゃなくて



脳喝替え歌 は、「特殊詐欺と交通安全」

長野中央警察署

楽しく 唄って 好認 ⇒ いいね! です

詐欺・交通事故 防止



最後に歌で締めたいと思いますが、脳喝替え歌は長野中央警察署公認じゃなくて好認をいただいて活動をしています。



元歌 高校三年生(舟木一夫)

↓

替え歌 流行り詐欺

10:40



<替え歌を披露>

特殊詐欺シリーズ 第24弾

長野中央警察署 好認

は や 流行り詐欺

作詞 スワノ ヤクワ

～電話でお金詐欺防止ソング～

(カラオケ)

一 交流サイトの SNS(エス・エヌ・エス)で
ロマンス詐欺が 流行っている
ああ 高齢者ねらってる
ウソで 恋愛感情をいだかせて
金銭だまし取る 特殊詐欺



20240610



特殊詐欺シリーズ 第24弾

長野中央警察署 好認

は や 流行り詐欺

作詞 スワノ ヤクワ

～電話でお金詐欺防止ソング～

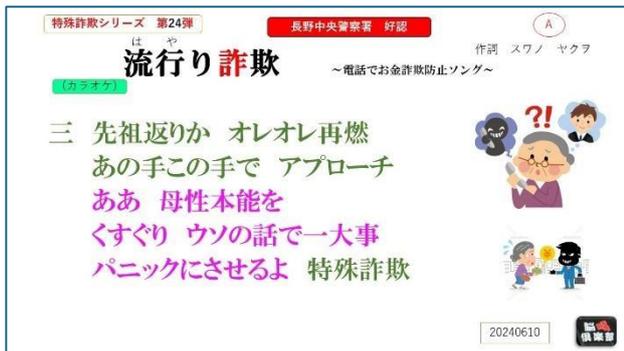
(カラオケ)

二 投資をすれば 必ずもうかる
SNS(エス・エヌ・エス)の 広告で
ああ ニセの投資家を
名乗り ウソの情報ながします
信じちゃいけない あまい罠



20240610





どうもありがとうございました。時間の関係でアンコールはございません。

講評

【木宮先生】

発表ありがとうございました。非常にユニークな取組で、まずはボランティアとして参加されている皆さん自身が楽しむというようなことが、一番大事なことだと思います。義務感でやらなきゃいけないという形だと継続性も難しいです。まずは、今回のケースは、防犯に限らず、様々な活動を皆さんで楽しんでやられているということで、こういった取組がいろんなところで広がるといいな、と思います。

思い起こすと、昨年のフォーラムでも、高齢男性の方で自分たちが好きでやっているのだから、お金もいらないし、新しい仲間もいない、自分たちだけでやりたいんだというような発表がありました。これも多くのところが継続性に悩まれている中で、好きでやっているというスタンスがいいよね、なんて話をしていたのを思い出しました。特に今回は、高齢の男性の方々の発表で、確かに高齢男性の方々は、居場所がないというケースもたくさんある中、高齢者を狙った色々な特殊詐欺等の啓発に、という内容は、高齢の自分たちが自分たちの問題として捉えてやる、ということも非常にいいなと思いました。

またカラオケでの替え歌は、非常に楽しくていいと思いました。今までは、よく子どもたちに、こういった活動をやらせるときに、標語を作ったりしていました。標語はたくさん作って応募して、選びやすいとか、作りやすいとかある反面、作った標語がなかなか浸透しないという問題があります。今回の替え歌だと一つ作って、長く使える良さもあり、こういう替え歌作りみたいなことも、子どもたちにやらせてみると面白いと感じました。また若い世代、今日は大学生のボランティアも来ていますけれど、そういった活動にも少し刺激を与えるような内容でした。ありがとうございました。